

職業的自立支援教育プログラム事業 都立高校生の社会的・

企業・NPO等との連携によるキャリア教育の推進

東京都教育委員会は、平成28年2月に「都立高校改革推進計画・新実施計画」を策定しました。この計画は、都立高校が生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成することを目的としています。その目標Iとして、「次代を担う社会的に自立した人間の育成」を掲げ、具体化するための取組の方向「企業・NPO等との連携によるキャリア教育の推進」の一つに、「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」が位置付けられています。

「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」とは



企業や大学、若者支援に関する専門的知識や経験を有するNPO等と連携し、都立高校生が社会や職業について、実感をもって理解しながら、将来、社会人・職業人として生活していくために必要な能力等を身につけることができる教育プログラムを実施しています。

本事業は、今年度で4年目となり、60を超える支援団体等の協力を得て、多くの都立高校で教育プログラムが活用され、生徒の学習意欲やコミュニケーション力の向上が図られるとともに、「『働くこと』などについて具体的に考えるようになった。」という声が高校から寄せられています。

本事業で進めるキャリア教育を通じて育成する力 —「基礎的・汎用的能力」—とは

★ キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達※を促す教育

※ キャリア発達：社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

★ キャリア教育を通して育成することが期待される「基礎的・汎用的能力」

→分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力

人間関係形成・ 社会形成能力

(例) 他者の個性を理解する力、他人に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等

自己理解・ 自己管理能力

(例) 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等

課題対応能力

(例) 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追及、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等

キャリアプランニング能力

(例) 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択・行動と改善等

★ キャリア教育の実施に当たっては、社会や職業にかかわる様々な体験的な学習活動の機会を設け、それらの体験を通して、子供・若者に自己と社会の双方についての多様な気づきや発見を得させることが重要である。

※ 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月)より